

字」を抱いて没落的傾向を深めつゝある。

然も世界恐慌の進展に伴ふ荷動きの激減は、各國關稅障壁の設定並支那に於ける排日排貨運動と共に、日本海運の前途を暗澹たらしめ、一時的には滿蒙上海事變に於ける御用船の出動による商船隊船腹の減少の結果、運賃界の活況を齎したが、この事實はむしろ將來に於ける排日排貨運動に拍車を加ふるものとして何等の樂觀材料をも提供しない。此等の事情は日本海上資本家群の統制組織上の缺陷と相俟つて、彼等の宿命的な苦惱を深刻ならしめる以外の何物でもなかつた。

此の如き情勢の下に於いて、日本海上資本家群は尙且その自主的努力による強力なる統制機關の組織に對しては一顧をも與へず、「赤字」負擔を海上労働者に轉嫁せしむることに汲々として、廣汎に亘る彼等の攻鉅を層一層尖鋭ならしめた。

失業海員の増加!!食料の低下!!各種手當の切下!!はかくて彼等のために敢行され、生活不安は全海上労働者を襲ふに至つた。

此の如き資本家階級の全面的攻勢に直面して吾國労働階級は遺憾ながら未だ是に相對峙し、是に致命的打撃を與ふべき勢力を用意してゐない。従つて吾國労働戦線の一翼たる本組合の運動も亦自ら防衛に終始せざるを得なかつた。昭和六年度の本組合運動の過程は實に防衛闘争の歴史であつた。

防衛戦線の擴大強化!!吾等は此處に先づその勢力を動員した。即ち多年の懸案たりし商船同志會との合同を完了して海上労働戦線を統一すると共に本年度大會の労働組合戦線統一に關する決議に基き日本労働俱樂部の結成を提唱して遂に是を成功せ

しめ更に國際運輸労働組合聯盟東洋副書記局を本組合内に設置して、廣く東洋交通運輸労働者の産業別戦線確立の第二步を踏み出せることはその一であり、新たな同志四千八百餘名を組合旗の下に参加せしめたことはその二である。

吾々はかくてこの新戦列に就いて海上資本家群の鋒鈍に直面した。

吾々は労働組合運動の基準が現實且具體的たるべしとの見地から六月末現在の船内労働事情を調査し、是に基いて本組合運動の誤なからんことを期した。然し乍ら前述せるが如く、本組合と直接團體的に相對立せる日本船主協會が何等の統制力を有せず、むしろ地方船主會の簇生に伴ふ勢力分散の事實は、一方に於て兩者間に各種團體協約を締結せるにも拘らず、協約履行の有無は本組合對協會所屬各船主乃至各船舶間の問題に移さるゝが如き奇現象を示しつゝあることは、現下の海上勞資關係に於ける一大矛盾とも言ふべく、然も海上資本家群の策謀せる労働條件低下運動は益々巧妙を極め、ために本組合はその監視に忙殺せられざるを得なかつた。組合創立以來未だ會つて見ざりし多數の各種交渉事件の勃發は實に此故に他ならない。

幸にして此等の散發的問題は夫々有利に是を解決することを得たが、過去一年間の全闘争過程を通じて甚だ遺憾とするところは、吾々が最も闘争の重點を置きたる失業海員問題及是と相關々係を有する賃銀復舊問題が、尙未解決のまま殘されてゐる事實である。これは勿論組合當面の客觀狀勢が然らしめたのであるが、吾々は此處に本組合運動の動向に關する一個の示唆を含んでゐることを認める。

失業問題はもとより資本主義經濟組織の必然的所産であるが、失業海上労働者の關する限りに於ては、當面失業防止の觀點より船員徵兵検査方法の改善及無統制の新海員並に高級海員養成教育機關の停廢を、又失業海員救済の立場より前年度以降の